

2014年06月03日

ーイタリア・ヴェニスで日本のスギ材提供と技術協働
現代美術作家 杉本博司氏デザイン
「Glass Tea House Mondrian/聞鳥庵(もんどりあん)」に協賛

住友林業株式会社（社長：市川 晃、本社：東京都 千代田区）は、2014年6月より開催される第14回ヴェネチア・ビエンナーレ国際建築展 2014 の会期に合わせ、サン・ジョルジョ・マッジョーレ島内(Venice, Italy)において、世界的に活躍する現代美術作家・杉本博司デザインによる「Glass Tea House Mondrian/聞鳥庵」の展示に協賛いたしますのでお知らせいたします。



本展示は、水の都であると共にヴェネチアン・グラスで名高い建設地であることに着想を得て、「水」と「ガラス」をテーマに制作されています。当社は本展示において、伊勢神宮外壁をモチーフとした、茶室をぐるりと取り囲む垣根の材料として、東日本大震災の被災地からのスギの無垢材を提供。また、施工にあたり技能五輪国際大会※1の銀メダル受賞者をはじめ、経験豊かな当社グループ社員4人を派遣しております。

杉本博司氏とは、「新しい常識で家をつくる」というテーマのもと、企業と建築家やアーティストが協働し新しい住まい方を提案した展覧会「HOUSE VISION 2013 TOKYO EXHIBITION」（東京 台場）においてもコラボレーションしており、伝統や美意識を日本の重要な資源と捉え、未来につないでいくことをコンセプトに、日本の伝統的なデザインを中古マンションのリノベーションに取り入れた「現代の数寄屋」と、利休の待庵※2をうつつた「雨頂天（うちょうてん）」を提案しております。

当社は、世界中から人が集まるヴェネチア・ビエンナーレ建築展の期間中、日本を代表する世界的アーティストである杉本博司氏のプロジェクトの協賛を通じ、世界に日本の伝統文化や技術を伝える一助を担えればと考えております。

※1 正式名称は「国際技能競技大会（WorldSkills Competition）」。参加各国における職業訓練の振興と青年技能者の国際交流、親善を図ることを目的に2年に1度開催される。

※2 京都府大山崎町にある、東福寺の末寺妙喜庵（みょうきあん）の茶室で国宝。現存する最古の茶室であり、1582年（天正10年）に豊臣秀吉の命によって千利休が作ったと伝えられる。

以上

【ニュースリリースに関するお問い合わせ先】

住友林業株式会社

コーポレート・コミュニケーション室 森永・飯塚

TEL：03-3214-2270

